



2025年1月17日

各位

会社名 **株式会社 ヨロズ**
 横浜市港北区樽町三丁目7番60号
 代表者名 代表取締役社長 平中 勉
 (コード番号 7294 東証 プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員 平野 紀夫
 (TEL:045-543-6802)

営業外費用(為替差損)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期(中間期)連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)において、外国為替相場の変動に伴い、営業外費用(為替差損)を計上いたしました。

また、本日発表の「減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び関係会社株式評価損等の計上に関するお知らせ」の内容を踏まえ、2025年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

1. 営業外費用(為替差損)の内容

当中間連結会計期間において、外国為替相場の変動に伴い為替差損(主にペソ建資産の評価損)1,687百万円を営業外費用に計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 180,000	百万円 4,500	百万円 2,750	百万円 1,050	円 銭 43.04
今回修正予想(B)	177,000	△ 1,200	△ 3,800	△ 17,000	△ 696.79
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 5,700	△ 6,550	△ 18,050	
増減率(%)	△ 1.7	-	-	-	
(ご参考)前期実績(2024年3月期)	181,468	4,459	4,517	△ 3,926	-

3. 修正の理由

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、円安による為替換算影響があるものの、市場の大きな変化を背景とした主要顧客の日本・米国・中国・タイ等の主要マーケットでの生産の大幅な落ち込みに加え、エネルギー価格、人件費の上昇影響、一過性の品質対策費用の発生や生産ロスの影響により営業利益の減少、及び一部の外国通貨の下落に伴う為替差損の影響により経常利益が悪化しております。併せて、本日発表の「減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び関係会社株式評価損等の計上に関するお知らせ」の内容を特別損失及び法人税等調整額として計上する見込みとなりました。これにより親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

以上により今期は大幅な当期純損失となりますが、来期以降の安定した事業運営のために事業環境に沿ったバランスシートの適正化を図るべく2024年5月15日に公表したYSP2026(中計)で掲げた収益体質強化に向けた構造改革施策を前倒しで実施するものです。

今回、利益計画の大幅な下方修正をいたしますが、2025年3月期における配当金につきましては、YSP2026(中計)で示した株主の皆様の支援に応える配当方針に従い、当初予想年間配当31円から変更はございません。

なお、通期連結業績予想における海外子会社財務諸表の換算は、次の為替レートを前提としております。

1米ドル=151.68円、1メキシコペソ=8.32円、1タイバーツ=4.30円、1中国元=21.03円……………(注1)

1ブラジルリアル=27.49円、1インドルピー=1.83円、千インドネシアルピア=9.40円……………(注2)

(注1)12月決算会社(2024年1月～2024年12月の平均レート)

(注2) 3月決算会社(2024年4月～ 2025年 3月の予想平均レート)

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上